
太刀しか握ったことない俺がスラアク振り回してみた。

まめ太

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

太刀しか握ったことない俺がスラアク振り回してみた。

【Nコード】

N6973T

【作者名】

まめ太

【あらすじ】

なんか本編のSFより好評なので、調子に乗ってシリーズ化してみます。

チートも悪魔ネコも居ません、居るのはちよいとボケたハンターが一人。

太刀しか使えない太刀厨が、ひよんな事からスラアク握ることになりました。（鈍亀更新注意）

まずは自己紹介。

ども。

俺です。

短編で何度か登場させてもらいました、主人公です。

モンスターハンターサードつて世界で、ハンターやってます。

作者がなんか、「シリアス長編は環境が悪くて書けないんだよー！うがー！」と吼えた後に、よく解からないけど出番が増えることになつたらしいです。よく解かんないけど。

名前はスレイ、以後よろしく。

ちようど村クエストを区切りいいトコまで済ませたんで、ちよつと集会所クエストも始めてみようかなと思って、温泉に行つてきました。

調子良い又コが番台やって、「こんちゃ、おばんですニヤー、」なんて声を掛けてくるんだけど。

お前ントコのクエストは今のところ全クリしてるから、やる事ねーよ、て感じで。

あ、修行のためにHRは上げずにいるから、受けるクエストはHR 1だけね。

・・・オンラインやりたいなー。でも、今更恥ずかしくてアドパなんて出来ないしなー。せめてHR 8くらいにしてから、アドパデビューの方向で。

「はぁーい、」

なんて、受付嬢のおねいさんが明るい笑顔で手を振ってくれて。

んー・・・、P2Gの時は上位とかGとか難易度上がることに、おねいさんのボディも大盛り特盛りつって、ナイスギルド！だったんだけど、今回はそーゆーのないみたいです。

アルバ倒すとランダムで、村長さんが受付おねいさんかハンターのおねいさんかの誰かが、告白タイムしてくれるとかいう噂もあるけど、あれってネカフェ特典ですか？

え？ フロンティア？ あー・・・、じゃあ、世界が違うのか。あーあ。

ところで、あの、ものすごく嫌な噂を聞くんだけど、あの、太刀遣いって、嫌われてるんでしょうか？

ところ構わず振り回すから？ 迷惑千万な気刃連続？ 後先考えずに斬り下がり？・・・ああ、了解。

俺です、それ。

やっぱり、来るべきアドパデビューに向けて、サブ武器の一つや二つは扱えるほうがいいですかね？

弓はなんとか使えるんだけど・・・いや、半分くらいはちゃんと当たるよ、うん。拡散矢で半分。

大丈夫、ちゃんと倒せるから。図体デカイヤツなら当てられるよ、アカムとか。砦蟹は無理だけど。

あんな細っこい脚にみんなよく当てられるよね。ラオも無理。急所とか無理なんでいつも太刀です。

でも皆でわいわい狩るんだし、そんなに精度良くなくてもいいんじゃない？ あ、ダメですか、やっぱり。

やっぱり、近接武器なにか扱えるようにした方がいいかなあ。

そんなこんなでスラッシュユアックス作りました。

理由？・・・カッコいいから。

集会所のクエスト受けてみました。

いきなりボスクラス行くのも気が引けるんで、手頃にタケノコを掘ってきます。

タケノコ取れる場所は・・・、実は俺、採集あんまりしないから、

ポイントよく知りません。

タケノコは一箇所しか。

あそこで全部取れるかな、取れなかったらどうしよう・・・。

あ、黒い又コ発見。

泥棒ネコどもです、俺、アイツ等大嫌い。

さっそく片付けちまいましょう。

て。

おい、コラ。

あ、地図盗られた。

ちょ、返せ、それ、て。

この武器どうやって使うんだ？

あ、砥石盗られた。

あれ？ 片付けちゃった、

あ、回復Gが。

待て、お前、それ、

くそう、撤退！

「にゃー」「にゃー」「にゃー」

ああ！ 追いかけてきやがる！

く、くそー、こうなりや迎え撃って・・・て、コレ、

あれ？ 空振り？ どっち向いて振り下ろして・・・、

あ、八チミツが。

ち、ちくしょう、この泥棒ネコー！（涙目

・・・太刀、取りに帰っていいですか？

本当の実力はこんな感じ。

あい。
俺です。

ジヨオウサマが3匹揃い踏みのクエスト。村クエだから、得物は太刀。

新・ユクモの太刀、攻撃力160だし余裕だろ、とナメて掛かったのが悪かったね。

いや、やってみれば解かるけど、40〜50回は斬らないと死なないからね。うん。他人様の戦い観てても、あの倍くらいは斬ってるよなーとか思うんだ、うん。

縛り入れてりゃ、そんなモンだよ、うん。

なのに、だ。

ギリなの解かってやってんだが、うっかり失念していたわけだ。時間もギリっぽって。

どうせレイアだしー？とか思っつて、ロクに準備もせずに出かけてしまった。

罨1個。千里眼なし。

孤島に出掛けるのに、面倒だからってクーラーとホットドリンクは入れっぱなしだったし。

ギルドバート装備が欲しくつて、ガンキンは何度か通ったけど、チケの為にはあと数回クエこなさないといけなくて……。コーラの飲みすぎでとおるちゃんになったらどおしよお。

今までナメて温泉無視してたのがココに来て裏目に出るとはぬかつたぜ。温泉チケとかドリンクチケとか足りねーよて言われた、チックシヨウ。覚えてやがれ鍛冶屋ジジイ、温泉宿の回しモンがー。

チケ目当てにクエスト回し。レウスにガンキン、ナックルボール・

そんなこんなで、やって来ました、孤島。
千里眼ないからね、走り回って探す。探す。

ここでかなりのタイムロス。あんまりこの時点じゃ、コトの重大さが解かってなかった。

みーっけ。

さっそくペイントして、斬りかかる。おりゃー。

尻尾は必ず切り落とす、なぜってそれが礼儀だからさあー。

あんまりこの時点じゃ、コトの重大さが以下同文。

レウスよりも攻撃し易いジヨオウサマ。

ほぼ攻撃し放題だったりするが、やっぱりヌコが散開しやがってるお陰で走り回る俺。

いや、走らせない方策もあるにはあるが、別にいいやーとか余裕ぶっこいてた。

あんまりこの時点じゃ、以下同文、が続くと飽きられる元だね。

さて、1匹14〜5分の割合でサクサクと2匹討伐。うち最初のは捕獲ね。

フロギィだし、毒の心配はないけど、てゆーか毒食らうとかねーよ、だけど。

まあ、さして急ぎもせずのんびりと狩ってて、あと残り時間15分。余裕だと思ってました、サーセン。

最後のジヨオウサマ、出てきません。いや、見つかりません、どこ！？ どのなの、おかあさん！！

あなたの子供たちは泣いているぞお！ 今すぐ出てきなさい！
うわあ、マジで冗談言ってる場合じゃなく、ヤバい！ 時間が・・・

！

フィールド移動する前のレイア発見！

慌ててポイント投げたけど、こういう時にはお約束に発動するんだ、ノーコンが！

なんで脚と脚の間に飛んでくかなー！？

そこでジヨオウサマは飛んでったしー！ 泣くぞ！

うわあ、残り時間10分とか！・・・へー、時計板が赤くなるんだ。

て、感心してる場合じゃないし！ 前のもあつたし！

いた！ レイア嬢！

て、でか。

いやー！ まさかまたネブラの悪夢再びとか！？ キングサイズと
か要らんし！

でけー、なんかさっきの2匹ってアナタ様の娘さんかなんかですか
？とか聞いてみてえ！

うわ、図体デカけりや判定もデカイ！

避けたつもりでも避けきれてねーとか！

斬り下がり距離で足りねーの？ 困つたな。

緊急回避で斬り下がり、楽でいいのに。使えない。

わ、わ、もう時間が・・・！

尻尾チョン切れた、なむさん！ ここで剥ぎ取る！！

待って待って、剥ぎ取るまでブレスは待って！

ざくざく・・・鱗。 「うが！」直撃！

鱗一枚で回復Gは・・・買えんわな。ちくしょう。

よっしゃ、翼壊れた！

続いて頭壊れた、倒れた、もうちよい・・・！

ブッブー。タイムアウト。

うっ……、もうちょっとだったのに……。

あ。

念願のギルドバード装備、揃いました。真ユクモにブースト掛けました。攻175。

罨1つ、調合分2つ、いちお毒消し持って。

ジヨオウサマにリベンジ行ってきました。

1匹5〜8分、最後はデカいんでちょっと丁寧に15分。クリアタイム、32分ナリ。

まあ、本気でかかればこんな感じ。3匹とも捕獲じゃ自慢にもナラズ。(笑)

華麗なる狩猟をご披露。

いや、そーゆうクエスト名なだけでね。

俺が華麗に狩猟出来るとかいう意味じゃないんで、反感持たないで欲しい。

ターゲットはドスジャギィ。

おっきいトカゲで、コイツ、ぐるんぐるん回転して自分で目え回して疲れてくれる。

訓練所の初心者コースでもお馴染みのモンスターだし、本当に簡単に狩れる相手だったりする。うん。

村の若い男性なら「危なかった・・・」とか言いつつ撃退出来てしまいうくらい。

だから、ソイツを華麗に狩猟してみたって、自慢にもなりやしない、て話なんだよ。

村長さんに頼まれた時は太刀を担いで行ったけど、その時はマジで傷一つ負わなかったし。

探す手間含めても5分針で終わったし。実際は2分くらいで倒したと思うし。

とんでもなく楽しい相手。楽勝。(笑)

まあ、1つのクエストだったら、そんなモンだね。

で、集会所で同じクエを受けて、と。

さすがに集会所で紹介するクエストのモンスターは、村で依頼されるようなのよりちょっとタフだ。

ほんのちよつとだけ。

村クエならそろそろ終わるんだけどな、とか思いながら攻撃しているとやつと脚を引き摺る、みたいな程度には体力高いらしい。

ここでもやっぱリヌコを引きつれ、フィールドへ降り立つ。

ヌコ装備、そろそろ良いのに変えてやるうかな。

ユクモにアシラじゃ、2〜3発食らえば潜っちゃうもんな。ごめん、ヌコども。

あ、レウス着たヌコの可愛さったら、尋常じゃないよね！。異論は認めるけど。

そのうち着せてやろうと思うんだけど、自分がレウス無用だからなかなか……。はは。

フィールドを移動する。

お、さっそくジャギイの群とそのボス、ドスジャギイ発見。

ペイント投げて……。外れた。

も一回投げて……。あれ？ 外れた。

嫌な感じ！。それっ、今度こそ。よしっ。

ペイント玉、今の俺にはけっこうお高いんだから、カンベンして欲しい。

さーて、背中に背負った愛刀を……。て、集会所ではスラアクにしたんだっただ。

スラアクを引き抜き、身構える。

操作はまだよく解かってないけど、実戦で覚えるさー。

横切り、切り上げ、が、基本。ナルホド。

群れなすジャギイを手当たり次第に斬り払いながら、操作を身体に叩き込む。

何発か食らうのは、まあ、これは仕方ない。いてて。

うざいな、コイツ等。

びたん！ て、痛ってー！

ぶっとい尻尾にビンタされた！ ドストカゲ、てめー！

吹っ飛んだ先でなんとか体勢を立て直して、ちよろちよろ煩いジャギイの小さいのを薙ぎ払う。

つもりで。

ちっさいのって、アックスの刃が空振る元だ！

待て、テメ、当たれ、この！
どすーん！

うぎゃ！ ドストカゲー！
ちっさいジャギイがトサカ広げて威嚇鳴き、ゲラゲラ笑ってるみたいに見える、うぜー。

笑うんじゃねえ！ 打ち上げ成功、どう、と地面に落ちて動かなくなった。

おっと、危ない、ドストカゲのタツクルを回避。
何度も引つかかるか、トカゲめ。

とか言つてたら、背中にちっさいのが噛み付いた。いてっ。
そこでドストカゲのタツクル直撃。

ごろごろー、て、なんてブザマなんだろう、今日の俺。
ああ嫌だ。泣きたい。

誰だ、スラアク使つてみたら？なんて勧めたヤツは！ 俺だけど！
くそう、ドストカゲ程度に回復薬Gなんて使つてたまるか、勿体無い！
い！

支給品の薬8つじゃ足りないけど！ Gは使わんつたら、使わん！

太刀くれよ、太刀！ いや、スラアク使わなきゃ！

ポコポコと殴る蹴るしてくれやがって、ジャギイどもめ！

太刀さえあれば、テメエ等なんぞなあ・・・！！

いやいや、スラアク使わなきゃ・・・！ 苦行か、俺！

残り体力3cm、上等！ こっからが本領発揮！

いてっ、またテメーかちっさいの・・・おう、硬直時間とか！

目の前にボス、やめて、連携とか無しで！

がっ！ ドストカゲ渾身のタツクルがまともに・・・

1乙。

仕切り直して、なんとか仕留めた。
俺、このままスラアク使い続ける自信……ない。

ドスワンゴとの遭遇。

はい、俺です。スレイです。

て、言わなくてももう覚えて貰ってたりする？ まだか。そですか。えーと、世のハンターにはヘンタイが多かったりして、例に漏れず俺も少々その気ありで。

でもまあ、フンドシー丁でランス担いでG級テオ行くどこかの兄鬼とか、弓一本でG級10分終了とかいうどこかの弓の女神とか、G級武器担いでるのになぜかブーメランで狩りをするハンターとか・・には遠く及ばないから大丈夫。俺フツ―。ちよっとマゾっぱいだけです。

あれはそう、このユクモ村に着いてしばらくの事。

順調に村長さんからのクエストをクリアしてって、幾つめだったか、ドスファンゴを狩る仕事を請けて。

当時、すでに青ブーこと、アオアシラもさくさくと狩っていたんだけど、ほら、装備がさ。

俺的に、アシラ装備とかジャギイ装備とかは、「ないわー」、「な感じだったもんで、ずーっと初期服だったんだ。防御力5とかいう紙装備。

でも見た目的には今でもやっぱり一番カッコいいと思ってるわけさ。

ずっとそれで押し通してた。

で、ドスファンゴだよ。

これ自体はサクツと片付いて、さあ引き上げようか、てなったんだけど。

緊急クエスト発生。

これって、アレだよ、アイツが登場したって意味だろ、て、現場へ

急行。

オラわくわくしてきたぞ！てね。

やっぱりというか、やっぱりで、ジンオウガ登場！

くあー、カッコいいなあ、男前だなあ、やっぱり！

で、さっそく。

のしのし歩いてるジンオウガに突撃ー！

どっすん、

で、最初の一太刀は見事に避けられてしまった。

「ー！！」て感じにドスワンコが驚いてたけど、やっぱりカッコいいな。

男前なモンスターだ。

どうしてコレが装備になるとアアなるのか、理不尽すぎる気がするな。

で、それから先は攻防戦。

初めて見るモンスター、

初めて見る攻撃パターン、

初めての距離感、タイミング。

楽しいよなー。

電撃が白い玉になって、ホーミングで弧を描く。避ける。いや、偶然。

厄介だな、アレ。接近戦オンリーで行く。

ピタツと張り付くように陣取って、ワンコの行動には注意。

前足の攻撃、すげーなコレ！ ドスツ、ドスツ、ドスツ、当たったらヤバそうだから回避に専念。

一回多く転がった、あ、三回攻撃がデフォね、了解。

ウォーン、て余裕ぶっこいて吼えてやがったんで、斬り掛かってみる。初期装備のユクモの太刀未強化だから、弾かれるかもなーとか思ってたけど、案外柔らかいね。ザクザク斬れた。

竜巻みたいなの一回転、巻き込まれたらダメージがデカそう、て、え？
『力尽きました』

うそ〜ん、当たってねーよ。

竜巻攻撃は見切ったけど、その後の足踏みに巻かれたみたいだった。
掠っただけでコレかよ、全部削れたとか？ わはは、笑うな。

防御5だもんな、そりゃ死ぬるわ。

どうしようかなあ、と迷ったけど、この攻撃力の武器では到底倒せる気がしないし、まあ、クエスト自体は達成条件満たしてるので、帰ることにした。

もう一回くらい遊んできてもいいなと思ったんだけど、やっぱり今は少しでも報酬欲しい。

いいや。楽しかったし。

思いがけず、ものっそ初期のクエストでボーナス特典もらった感じ。
アコガレのジンオウガときゃっきゃうふふしてきて、大満足だった。

「旦那さんも立派にヘンタイにや！」

巻き込まれたオトモのニヤルガがぶーぶー言ってたけど、聞こえない。
い。（笑）

咆哮、ディアブロス

ムロウシを捕獲した後のクエストでディアブロスが登場したんでさつそく行ってきた。

ムロウシ、ハンマー遣うハンターにはお馴染みのムロフシを使ってくるモンスター。で、ムロウシ。

正式名称ドボルベルク。そんなに大きくない固体だったから、割と楽に沈んでくれたけど。

今回2089、とかって大きかったから大して苦労しなかったんだろう。もつとデカいのだったら、牛式ムロフシで何度吹っ飛んでたか知らんわ。

今度のレウスは一味違う、て事でかなり楽しかったレウス戦。

で、ムロウシの後に挑んだディアがまた、今度のディアは最初からマ王、てくらいに楽しかった。

装備がギルドバードで防御100・・て、え？　なんで113？

強化してないのに。

ちよつと謎仕様だけどもあいいか、て事で武器は真・ユクモで攻撃184、ドリンクでコーラ飲んでるからちよつとだけ上乘せだ。

ああ、そうか、持ち物で護符持つてるからだ。サーセン。

まあ、こんだけあれば余裕で狩れるからオケ。

さつそく砂原へ。砂漠じゃないんだね。和風表記。

ディアブロスみつけ。そんなに大きくないヤツだった。良かった。

さつそく足踏みに巻かれてコケる。体力2cmくらい減ったか、この程度ならオケ、十分渡り合える。

その後、尻尾ビターンと角巻上げの強攻撃をモロに食らい、それぞれでゲージ半分と判明。

やっぱギルドバード頑丈だー、かなり余裕で戦えるじゃん。

ただし、怒り状態になると3分の2持つてかれて、真・ユクモは弾かれる。マズイなー。

畳み込むような連続攻撃、ての、このクラスのモンスターにはあるらしい。

レイアのプレス直撃起き上がり後の突進とか、レウスの離陸火炎弾直撃後の滑空毒尻尾とか。

カ○コンの調整ワザが冴え渡っています！（笑

で、ディアブロは突進のスピード上がって、角巻上げ範囲広がって、尻尾びたーんが素早くなつた、と。

迂闊に近寄れなー！

ホーミング突進でないのが救いデス、でも突進で微妙に距離が開くウザさは健在。

結局追い掛け回すのか、やれやれだぜ。

潜つたー、ほいほいと移動して砂煙確認してゴロリン。どざーっと登場。

尻尾、尻尾、ぶんぶん振り回した後に切りかかる、どっすん、て？

え？ 空振つたー。

こつち向いたタイミングで角に一撃、ほい、と横へゴロリン。突進の範囲は適正になったのか。理不尽巻き込み来るかと思っただけ。

ワタクシ、好きなスキルは「自動マーキング」と「回避距離」です、ええ。性能は要らんです、ええ。

正面で咆哮食らうとクワンクワンになるのがちとデッドゾーンな感じで恐怖。

ヌコ！ ご主人様がクワンクワンしてんのに蹴れよ！ 馬鹿！

ディア戦、3回ほどクワンクワンしてましたー。てへ。

正面は危険だ。仕方ない、角は諦めるか。初戦だし、まだ素材要らんし。（ごめん、言い訳だ。

とか言ってる間に尻尾がチョッキン。わーいわーい。

これで少しは楽になる。

回転した時に回避が格段に楽になるから、尻尾切断はデフォです、デフォ。

よっしゃ、後は攻撃し放題！ とは、ならないのがさすがにディアブロ。

レウスなんぞは回転中狙えばどこでも破壊しまくれるんだが、ディアにタイミング合わせるのはなんでか難しい。今が角の狙い目だと思っただけども。

角をへし折ってやろうと何度も頭部を狙って攻撃を繰り返すのだが、いかんせん、怯みがどーしても来ない！ ダメ蓄積まだかー！ まだ折れねーのか、このー！

どんどん怒りっぽくなるディアブロ。怒ると武器が弾かれて、危険度が跳ね上がる。

硬直時間が！ ガキイン、でよるけて怯みで、こっちの心臓も縮み上がる、くそ。

瞬発力で避ける、硬直解けた一瞬とディアの角巻き込みが同時。一瞬だけ、こっちのが早かった。

弾かれる武器はこれだから嫌なんだ、回避に余裕がなくて嫌。

でも怒り状態冷めるまで待てるほど気が長いヒトじゃないです、俺怒ってんのか、そーか、良かったな、俺は焦ってるよ！

ガキイン！ て、またかよ、くそったれ！

「くはっ、」

今度は食らった、ゲージ3分の2。回復しないと次でオダブツ。

タゲられてるのは俺。ヌコは2匹ともバツテンだ。

突進モーシヨン来い！ 潜りか、マズいな、武器片付けて慎重に。

ほい、回避。

尻尾ビターンが二度になったのはあり難いかな、この隙に回復。

しかし、ヌコ、尻尾一発で沈むとか・・・防具変えてやろう、うん。

（涙）

しまった！

強攻撃後、回復の前に咆哮食らう、クワンクワンしてる間に突進で
1乙。

まー、ほら、これって不可抗力？ ・ ・ 油断しました、サーセン。
ベースキャンプから戻る。

あれ？ 寝てやがんの。 ・ ・ え？ もしかして？

ジャギイがたたき起こしたもんで確認出来なかったけど、もちよっ
と痛めつけて。

おお、やっぱり捕獲可能来てるよー。

そうと解かればさっさと捕獲。ほい、終了ー！。

脚引き摺るといふ明確なモーションがない場合もあるのか。気をつ
けよう。

村クエ下位くらいかと思ってたけどな。

ティガ弱体化！

あんまり得意というわけでもないけど、ティガレックス討伐が出てたんで受けたよ。

「旦那さん、ティガレックスに行くニヤ？ 大変ニヤ。そんな装備で大丈夫ニヤ？」

「大丈夫だ、問題ない。」

なんかのゲームみたいな返事を遣しておいた。

そう言えばそのゲームもしばらく初期装備で戦ってたんだけど、5分経つても戦闘終わる気配なくて、敵が無限湧きしてるー！？とか動揺して死んだとゆーね。カッコ悪い、俺。

おまけに、死んだ後に真っ白い装備貰って、それがデフォだったというオチで。

因みに、針だらけのステージで挫折しました。はっはっはっ。

ここ最近の装備はギルドバード一択。今日は村クエだから、真ユクモの太刀持ってきた。

ディアブロもコレでいけたんだし、大丈夫、大丈夫。とりあえず一発で死ななけりゃ何とでもなる。

フィールドに到着。

ティガレックス、発見。さっそく突撃、おりゃー。

目指すは尻尾、一直線。このティガレックスっていう飛竜、ノータリンだから尻尾にザクザク斬りつけられてんのに、全然気付かないんだ。

なんかヘンだな？みたいにキョロキョロしてるだけ。

相変わらずで嬉しいぜー、とか思いながらザクザク尻尾に斬りつけてやった。

ようやく俺に気付く。前足でふみふみ、これって咆哮の準備デス。

ティガのわき腹付近へ退避して、咆哮を受ける。ヘタに逃げるとタゲられるし、この後の回避が出来なくなるんだ。耳栓あればこれ幸いと襲い掛かるとこだけど。今、まだ無いし。

耳を塞いで「うゝ、煩せー、」とか頭振ってる横で、奴は見失ったハンターを探してる。

つまり、俺。

あ、横にいた、みたいに向き直って突進。

それが解かっているから、最初から回転分だけ距離開けて真横に移動したんだよ。おまいの事、何匹狩ったと思ってるんだー。(笑)

コロリン回避。

「旦那さん、アイツ走ってっちゃったニヤー！」

解かっているよ！ 走り出したら、フィールドの隅から隅まで走り抜けてくんだよ、アイツは！

Uターンとか多用してくるから、追いかけるのは一苦労。

ザカザカザカ、て感じの走り方はなんかゴキブリみたいでさ・・笑える。

その場所に留まって、ティガが止まるのを待つ。Uターンしても元の場所からズれるんだ、なんの為にUターンするんだろうなあ、アイツ。やっぱ馬鹿。

ティガは闇雲に走り回り、突進であちこちの岩壁にぶち当たりまくり、他の草食系モンスターを蹴散らしまくって、フィールド中を移動した。

うぜー。追いかけるのが大変なんだよ、武器を仕舞って全力疾走でないと追い付けない。

自然、こっちも抜刀斬り、回避、納刀、全力疾走、抜刀斬り・・の繰り返し。

そうこうしてたら、ティガのヤツ、Uターンしくじって脚滑らせてコケた。

おー、これがティガのバテモーションね、面白いなあ。あ、逃げた。バツ、と真上にジャンプしてそのままどっかへ飛び去ってった。ム

ササビみたいに滑空して。

以前の、ポツケ村と違って、こっちのモンスターはなんでかバテる仕様なんで大変楽ししてもらってる。

このティガにしても、ポツケ村近辺の奴だと、怒り状態でも斬りかからないことにはタイムアップで仕事にならなかった。

怒り状態、解かる？ 前足に血糊みたいな模様が浮き出て、スピードは上がるわ攻撃力上がるわ隙は減るわでどうにも手が出せなくなる状態なだけどさ。

怖がって逃げてたら、時間が足りなくなるんだ。こっちの武器もギリギリのヤツだから。

例えば村上位でもG級武器使えれば、そんな無茶しなくて済むんだけど、俺は修行で極力モンスターのレベルより強い武器防具は持って来ない、と決めてたからさ。

だからいつでもギリギリの勝負だった。俺は別に神とか言われるハンターじゃないもん。

余裕で狩れるなんてことはないよ。

でも、こっちのモンスターはバテるんだよ。

オマケに、お供又コの武器防具を変えると、いっばしに戦力だったりするし！

「旦那さん、そろそろポーン装備は変えて欲しいニヤ。当たると滅茶苦茶痛いニヤ。」

・・・ゴメン。

なんせ俺、ユクモ村に来てから先、あんまり武器・防具の類、新調してないから、端材がないんだよな。

端材ってのは、オトモ又コの為の武器防具を作る時に必要になるアイテムで、これは人間のハンターが武器防具を作った時の余り素材らしい。

「レウス欲しいニヤ！ あの剣、カッコいいニヤ！」

「こつちのレウス剣作るまで待つて。・・・そのうち作るから。」
旦那さんのそのうちは半年後だニヤ！とかって、あんまり責めてくれるなよ。だってまだ要らないんだもん。
やっつと、ティガに追いついた、つと。

バテた時のモンスターはそれぞれだ。

ムロウシはゼーゼー言いながら、その場でじっとしてる事が多かったけど、ティガはあんまり止まってないな。Uターンしくじってコケた後にへたばってるのが多いか。

なんにしてもチャンスなので、イタダキマス。

ザクザクザク。

おー、怒った。噛み付きは右に回転、足元をすり抜ける。

そのまま反撃で足首あたりに気刃一閃。

ギャース、て爪壊れた。怯んだとこで尻尾切らせろ、おら。

どっすん。

・・・なんかもー、やだ。距離測り損ねて空振りっつての多すぎるだろ、俺。

でもまあ、なんとかかんとかで、ユクモでの初ティガ狩りは終了！。

・・・黒いのも居るらしい。ワクワクだな、おい。

2 ラングロトラ

はい、アルマジロこと、ラングロトラ討伐クエストに行きました。集会所ということで、今回はスラアクを。

持てる素材を投入しまくって、最大限強化！

こないだ言ったことと違うとか言わない、太刀は縛りしよってるけど、スラアクは縛るつもりないし！

おっしゃー！ チート状態で瞬殺したるわー！

いました、赤アルマジロ。挨拶代わりにえいやー。

スラアクの扱いもだいぶ慣れてきたよ。ガンスはP2Gでも少しだけ扱ったけど、それよりは使いやすい。サイドステップで回避成功すると、なんかものすごく気持ちいいな。

ひょい、て感じで横へ移動、モンスターの振り下ろす腕が空を切る。兄鬼とかになるとこれでディアプロの突き上げまで余裕で避けるんだから、たまらん。

兄鬼のレクチャー見たことある？

「ね？簡単でしょ？」とかのたまった、あの伝説のレクチャーを。

ディアプロスが潜って、足元から突然、砂を突き破って姿を現すあの攻撃。あれを「ひょい、」だよ。

モンハンは特殊な世界だ、防御力や攻撃力がどれだけ強いかなんて自慢にならない。

レベルだって問題じゃない。

強い武器で、一撃のもとにモンスターを倒しても、鼻で笑われるだけだ。

そういえば、一部ブラウザゲーとかでもそうなんだよな、本当は。

俺が知ってる他ゲー世界の猛者は、初心者にも毛が生えた程度のレベル

ルで、ダンジョンボスのゴーレムを手玉に取って、戦い方をレクチャーしてくれた。

武器は店売りのナイフ一本、スキルは必要最低限。で、文字通り、一時間近くに渡って延々とゴーレムをお手玉にした。スキルハメのやり方、という講座で。

あの正確無比な位置取り、狂いないタイミング、そして「途中は省略」とか言ってしまう悪魔の余裕。

スラクが強いから、2クエストなんざ5分で終わる。

赤アルマジロの背中の中のアーマーが粉々に砕けた。これで全部位破壊完了。脚を引きずり始めるターゲット。

追いかけて、畏にかけて捕獲。クエスト終了。

いつか俺も。

神々の領域へ一歩でも近付くために、今日もひたすら竜を狩る。

オトモヌコ、ナルガ

P2Gのオマケで猫バアから貰ったのが、ナルガとゆう名前のヌコ。・・・いい性格してる。

今は他のヌコ育てるのに忙しいから農園で待機してもらってるけど。最初はコイツとレオンが俺の相棒だった。で、そのニヤルガがオトモしてた頃の話。

「旦那さん、ペッコ行くニヤ。こないだみたいに楽勝ニヤ。」
こないだつても、ちょっと前になる。レイアのクエスト出たからって喜んでホイホイ行ったよりは前だった？
俺、弓はクイーンブラスターと決めてるからさ、早く欲しかったんだ。

ニヤルガを先頭にのんびり駆け足。

まあ、ペッコが呼んでくるモンスターなんて、青プーかジャギイくらいだもんな。

2匹同時で乱戦になったところで、大したことないし。とか思ってたんだよなー、この時は。

俺、レイアを倒した後だったのに・・・。

適当に走り回ってるうちに、ペッコを発見した。

まだまだ余裕はないから、千里眼の薬なんて使えない。時間はかなりロスしたかなー。

でもまあ、ペッコにペイントぶつけてさっそくバトル。

案の定、ペッコがモノマネでモンスターを呼んだ。

来るならこーい、青プーかジャギイだろ、どーせ。

ペッコを軽くしばき倒すこと5分針程度の時間。

ばっさ、ばっさ・・・

え、うそーん、この羽ばたきは・・・
レイア登場。

がぜん強気ですよ、ペッコさん！

お前、現金すぎるだろ！ てか、なんてモン呼び寄せてくれんだー！
咆哮一発、しゃがみ込む俺にペッコが蹴りを入れてくれる。

こ、このヤロウ、とか思った直後に迫り来るジヨオウサマ！

うーわー！

ハリウッドジャンプ！！

待って！ ちょっと待って、話し合おうじゃないか！ 話せば解かるんだ！

アンタに恨みはないんですってばー！！

またまた突進、超不機嫌レイア。ちょいデカイんだよこのジヨオウサマ。

ハリウッドジャンプ！！

解説しよう！ハリウッドジャンプの欠点は、多用するともんのすこく格好悪いことだ！

完全に名前負け！

ハリウッド・・・ぐえ、

ジヨオウサマの熱い抱擁、巻き込まれた砂塵が舞い上がりハンターは無様に転がる。

強化していない装備はまるで紙切れのように・・・一気に体力ゲージが振り切れたわ！

死ぬー！ て、毎度毎度、大騒ぎだな、俺。

必死になって逃げて回復Gを飲み干す俺、ごっく・・・ペッコー！
ペッコキックに邪魔されて更にゲージ減少。

く、くそう、早く回復しなければ、ごっくん、ごっくん・・・突撃レイアに轢かれる俺。後ろに居たんかい、

あああ、せっかく回復したゲージが元に！

ペッコ、こつち来んな！ 又コと遊んでろよ！

て、ニヤルガー！ あつちゅー間に死んでんじゃねえよ！

俺、メンタル極端に弱いから瀕死ゲージで踏ん張るとか無理なのっ！
回復させて、お願いっ！

満タンになつたら二匹が三匹になつても相手してやるっつってんだ
ろが！

ゲージ気になつて集中出来ねー！！

レイア三連ファイアボールブレス、頼んだペッコ！

ペッコを盾にして避わす俺！

突進レイア、頼むぞペッコ！ ペッコを盾に後ろへ走って回転回避
する俺！

ニヤルガ復活、いゝタイミングです、又コ！

レイアのファイアボール！

頼んだぞニヤルガ！

盾になるなら何でもOK！！

鬼畜だと！？ 俺は犬派だ！！

「旦那さん、ヒドイニヤ・・・」力尽きたとか、アリエンティ。

やっぱ防御弱すぎたのか？ ケチらずにポツケ装備着せてやれば良
かったか。

おっ、ペッコがフィールド移動だ、良かったな！ 又コ！

レイアは放置してさっそくペッコを追う俺。

倒したらガンキンとか呼ばれそうでビビってます！

あれ以上厄介なの来られたら嫌過ぎなので、絶対に！ 何があつて
も！ 倒しませんっ！！

だいたい青プーから順番に呼べよって！ 心の準備ってモンがある
でしょー！？

ペッコ発見！ おー、逃げることはないよ、大丈夫、やさしくするから！

ギタギタに切り刻んだ頃合でレイア到着。

お前の相手はこつちだ！ 行け、レオン！！

大物狙いのおまいを雇った真価を今こそ示す時だ！！

俺は逃げたペッコを追いかける！！

フィールドチェンジ！

ペッコ発見！ いいよー、脚の引き摺り方がグーだよー！

さっさと捕獲しちまおう、きつとジヨオウサマが乱入する。

ばっさ、ばっさ、

間髪入れずに来るんだなー、あー、しつこい。

もう罷仕掛けちゃったもんねー、一足遅かったなあ、レイア！

はーっはっはっはっ、はあ！？

レイアが掛かった！！

その後の阿鼻叫喚はいずれまた・・・orz

二頭狩り 前編

6クエスト、最近は執筆活動に忙しくてなかなか狩りに行けてないんだが、やっと中盤。

いちおう、イビルジョーを倒すあたりをクライマックスに定めて、せつせとクエスト消化してんだが、なかなか進まないね。

こんにちわ、グダグダソロハンター・スレイです。

最近の装備はあいも変わらずギルドバートー式に真ユクモ、そうそうアックスをグランドダツシャーに強化して、次の強化はタイラントアックスにしようかファイアテンペストにしようかで迷ってしまい、おまけに金もないんで困惑中。

なんせギルドポイント35000だからな。低う。今ならフツに50万超えてる人ザラに居るよな。

時間だけは無駄に110時間だし。

はい、一直線にクエスト消化してるんで、村終盤だつてのに、ぜんぜん金無いです。

太刀遣いのくせに使用に耐える太刀は真・ユクモ一本だけでーす。余裕がないんだよ、貧乏が悪いんだ。

農園もせつせと通ってんに、ちっともハチミツ増えないしー。

愚痴はそろそろやめよう、自分で言ってる虚しくなってきた・・・。

昨日ようやく完熟バナナ王とムロウシの二頭クエを消化しました！。そろそろ学習しまして、ちゃんと千里眼の薬は持ってた！ 畑で取れた素材がばちばち貯まってきたから、ちよつと使ってみましたよ、と。自給自足が基本です。だって金ないから！

調子に乗ってアックスをガンガン強化したのが悪かつたんだよな、使いもしないのに三本も。ダメだ、また愚痴になりそう、さっさと千里眼の薬飲んで狩りを開始しますか。

ごっくん、フィールドマップ上に点滅する黄色い二つのポイント。

これがターゲットを示してる。

二つのポイントのうち、水場にいるのは恐らくバナナの方だろう、と狙いを定めて急襲。

アタリ。黄色い完熟バナナが小柄な青バナナ二頭を引き連れて水浴びしてる。

正式名ロアルドロス、ぶよぶよのおできみたいな瘤が獅子のたてがみみたいに上半身を取り巻いて、見た目ほとんど熟れ過ぎて弾けた果実を貼り付けてるような感じで、それで付いた渾名が完熟バナナ。あ、取り巻きの青バナナつてのは、その幼生とかメスね、ぶよぶよが付いてなくて体表が青緑っぽい。

奥へ向かう途中なのか、のしのし歩いて、ちょうど俺には背中を向けてる。

走り寄った俺がポイントボールを投げつけたところでこっちに気付いて身を返し、威嚇してきた。

ほいほい、悪いね、お前なんか敵じゃない。サクツと片付けさせてもらいましょうかね。

オトモのルドロスが二頭くつついてるが、別に気にせず完熟を狙う。雑魚は又コがそのうち片付けてくれるだろ、今日は小型狙い連れてきたし。ニヤルガは小型一筋の隠密猫だ。

隠密つてのは厄介で、こうして蹴り飛ばしてタゲらせないと罠にもならんから扱いにくい。

おら、バナナ、餌だ。

「旦那さん、またまたヒドイニヤー!!」

うるさい、お前は黙って青バナナ片付けてる。こっちは完熟相手に忙しいんだよ。

最近雇った新人又コ、ロンが駆け寄ってく、2対2ならどーとでもなるだろ。

おっと、又コに気を取られて完熟から目が逸れてたぜ。

ジャンプして体当たりかましてきたバナナの攻撃を回転回避で避ける。まずは尻尾切っちゃお。

尻尾というか、ケツあたりをザクザク斬りつける。バナナの上半身がひねりを効かせたらローリングの初動作だから範囲に入らないように気をつける。

ぐるんぐるんぐるん、と身体全体をローラーにして敵を轢き潰す攻撃だ。

死角があつて、尻尾付近だと当たらないから構わず攻撃を続け、ローリングするヤツを追い、追撃。

尻尾よこせ、尻尾！

身体を絞るように丸めた時は要注意、弾き飛ばしの動作で、頭突きを巧く避けても尻尾で引つ叩かれる恐れがあるから、斬り払い動作を入れて回転でバツク。十分な距離を取ったら安全っちゃ安全なんだが、攻撃のテンポは距離を取った分だけ崩れてしまうのが難点だ。リズム崩れた、走り寄って抜刀。

次のヤツの初動作までに気刃四連、叩き込めるか、どうだ！？

大きく左へ回し斬り、続けて右回転、勢いに任せて左右へ捌いて、上から叩き付けるように刃を落とす、一連の技を気合込めつつ次々と繰り出し、そこから一気に体重をかけて標的を挽き斬り、するりと納刀、ここまででワンモーション。

納刀直後にローリング準備完了、悪いね、バツチリタイミング合ってるから難なく回避。

一段、二段、三段、と同じモーションを叩き付けることで、武器の威力は増していく。

ほんとは気刃大回転斬りという名称だが、他のハンターは二ヨ二ヨしながら気刃大迷惑斬りと呼ぶ。

まあ、あんだだけ振り回せば周囲360度漏れなく切り刻むからなあ。あ、因みに尻尾は早期に回収致しましたあ。

そうこうするうち、脚を引きずり出した完熟バナナ。

おっと緊急事態発生、・・・罨の調合分、忘れてきました！。
複数クエは時間短縮の為に調合分必須だったのに、俺って馬鹿だ！。
絶対になんか忘れるから、ポーチに砥石は入れっぱだ。
こうなったら、バナナは討伐しちまおう。ムロウシを討伐するのは
骨が折れるからな。

瀕死の完熟バナナを追いかけてきたら、ムロウシとご対面！
しまった！ 居たのか！！
がぜんやる気が出てくる死にかけバナナ。
ヤバイけど、とりあえずマーキングしとけ！ ぼい！

二頭狩り 後編

ムロウシと完熟バナナ、今回のターゲットが二頭揃ってしまった。正式名称はドボルベルクとロアルドロス。

ムロウシは尾が特殊な形状で、まるで振り子のように大きな瘤になっている。ハンマーを尾に括りつけてると思ってくれ。ソイツを器用に叩き付けたり振り回して攻撃する。後ろ足二本で立ってバランスを取り、砲丸投げのように自身の巨体を宙に放り投げて敵を押し潰すようなこともする。

地味に攻撃範囲が広くて戦うのに広い領域が欲しい、嫌なモンスターだ。

そこでここはけっこう狭い。

しかも拙いことに挟まれてるよ、俺。バナナが反転、俺に向かって突撃がましてきた！

ぐるっと視線をめぐるせ、二頭をなんとか視界に収める。雑魚なら別に画面外から突っ込んできても平気だが、コイツ等クラスになるとちと拙い。下手すりゃ致命傷食らう。

複数クエの時はとにかく、視界の中にフィールドにいるタゲ全部映すことが先決だ。

ムロウシとバナナ、出来れば一直線に並べたい、こっちが移動して並べる。

バナナが身をよじって弾き飛ばし動作に入る後ろ、視界の隅っこではムロウシが勢い良く投擲体勢に移っているのが視認出来る。浅い回転から、高速回転へ。回転しつつ竜巻のように近付いてくる。

パネエ！ 抜刀してた武器を素早く収め、バナナの攻撃圏内から離脱、続いて迫り来るムロウシのスイング圏内からもなんとかすり抜け、宙を舞う巨体の落下地点から・・落下地点には大地に影が刺す、俺の真下！

間に合え、ハリウッドジャンプ！

どーん、と巨体が空から降ってきて、もうもつと砂煙をあげる。これだから嫌なんだよ、合流は！

立ち上がったところへ畳み掛けるようなバナナの攻撃、ジャンププレス。

緊急回避の硬直解ける前に来た、直撃。ダメージがガツンと、体力ゲージがぐん、と減る。

そこへウシが頭を低く角を地面に滑らせるように、突進で向かってくる。

なんとか避けて、見失った黄色いバナナを捜す。

あ、ヤロウ、脚引き摺りながら、フィールド移動開始した、逃がさん。

待ってる、ウシ。後で相手してやるっ。

再び投擲体勢に入ったムロウシを放置して、俺はバナナを追いかけた。

無謀にもウシに突っ込んでったロンが、途中で慌てて反転、追いかけてくる。お前、無茶ネコだなあ、レベル5のくせに。

フィールド移動したら、バナナは隅っこでぐーすか寝ていた。

ほんとならコソコソと畏張っておしまいにしたいところなんだが、今回、畏はウシで使いたいんで叩き起こして、戦闘再開。

気刃、大回転につなげる途中でバナナは力尽きた。

よしっ！ 残るはムロウシ！

まだ移動してない、さっきのフィールドへ戻る俺。

ヤツは俺に気付いて、湯気を噴いて威嚇の咆哮を上げた。いい感じで怒ってるなあ。

またもや角を突き出して突進、避けて、追いかける。

今回はちよつと角折りいってみたいんで、回復薬使わないように丁寧に戦ってた。

回復Gは調合分合わせて残り17個。十分。

ハンマーな尻尾が目前に寄ってくる。回転して腹の下へ。どすん、どすん、と俺が元居た場所を叩くあいだに腹をザクザクと数回ほど斬って、横移動。

さーて、角攻撃するにや、どう攻めるべきかな？

とりま、この位置から横殴りに角を叩いてみる。ガツーン、弾かれた！ 堅え！

攻撃が弾かれるのは拙いんだ、硬直時間食う。よたよたと蹈鞴を踏む俺に照準合わせてウシが頭を下げる。突進の初期動作。

間一髪で回転回避、こりゃタイミング激ヤバだ！

懲りずで抜刀、角に叩き付けると火花が出た。そんで硬直。よたよた。

今度は直で角の突き上げ食らって吹っ飛んだ、マジでパネエ……。ヌコに突っ込んでく隙になんとか回復して、さらに突撃。狙うはやつぱ角！

ガツンガツン叩いて、俺も突き上げ食らって、なんか華麗さの欠片もない泥仕合になって。

そーか、一発叩いたら一時撤退、回避してからも一度叩く、てりズムか、てな発見があったりして、ついでにムロウシのスイングは根性とタイミングで回避可能と知ったのは大きい。うん。

あの回転中の尻尾、避けられるのか。

そーと解かれれば突っ込んでいかない手はない！ レッツ・チャレンジ！

ほんとの泥仕合に成り下がり、回転中の危険極まりないムロウシに突っ込むハンターと、へロへロになって回転途中でコケるウシとの壮絶なる死闘の結果、見事に角は砕け散り、ウシはコケたところへ罌を張られて、捕獲されましたとき。ぜえぜえ。

残り時間10分、回復G、残り0。

ムロウシスイング回避は要練習。ぜえぜえ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6973t/>

太刀しか握ったことない俺がスラアク振り回してみた。

2011年6月28日07時26分発行